

5月刊 四万十町

月号 地域おこし協力隊 だより

2024
May

窪川（本庁）
新規就農支援

三年目を迎えて

戸井田 愛理
Toida Eri



協力隊に着任してから、あっという間に二年間を終え、三年目を迎えました。二年目を振り返ってみると、一年目よりも農家訪問や農作業研修などで町内外の様々な農家さんたちと、お会いする機会が増えたことによって、新しい知識や考え方を知り、たくさんの方の刺激をいただきました。それらを少しずつ協力隊のミッションと自分の将来や農業経営についての考え方に取り入れながら活動できた一年間だったと思います。



お気に入りスポット



初めての畔切り

して、新たに特別栽培米の研修をさせていただいています。移住前までは、野菜の栽培に興味があり、水稲に関しては機械化が一番進んでいる作物という認識しかありませんでした。しかし、移住してから仁井田米のおいしさや水管理や縁植えなどの細かい手作業や観察の大切さを知ったことで、魅了されています。また、県外の方たちが短期の農業バイトをしながら四万十町を知ることができ、「四万十町ふるさとワーキングホリデー」を実施しています。新たな取り組みについては、また別の機会にご報告できたらと思います。残りの任期も悔いがないように楽しく過ごしていきたいです！



篠田 雄生
Shinoda Yuki

食文化を彩る新たな一歩

窪川（本庁）

四万十町の特産品開発

早いもので、地域おこし協力隊としての活動も三年目に入りました。四万十町の食の魅力発信に貢献することを目指し、多岐にわたるプロジェクトを実行しました。これまでの活動総括と、新たなチャレンジについてご報告いたします。まずはじめに、国家プロジェクト「食の六次産業化プロジェクト」レベル三の取得です。この資格を活用し、地域食材を使った商品開発に着手しました。高知大学土佐FBCでの学びを基に、「糎マフィン」「中華糎」「トマト糎」など新商品を開発し、地域農産物の価値向上と地域経済の活性化に寄与しました。続いて、おにぎり屋「青いしろくま」では、



イベント出店の様子



提供するパンのイメージ

四万十町特産品である「仁井田米」を使用した商品を提供することで、四万十町を訪れたお客様に仁井田米の魅力・美味しさを伝え、地域活性化に貢献してきました。お陰さまで地域の皆さまに支えられ、開業からもうすぐ二年を迎えようとしております。さらに、新たな挑戦として「パン屋」の開業を計画しています。国産小麦百パーセント、無添加生地を使用し、た、家族連れで地域の日食べても食べ飽きないパンを提供します。これからも、四万十町の食を通じて様々な新商品をつくり出します。皆さまの変わらぬご支援と協力を心よりお願い申し上げます。



着任

山上 智哉
Yamakami Tomoya

協力隊着任のご挨拶

株式会社サンビレッジ四万十
体験型観光農園の開園と
地場産品を活用した6次産業化

四月から地域おこし協力隊の一員として、お世話になっております。影野地区を拠点に活動する「株式会社サンビレッジ四万十」で、観光農園の開園や農作物に一次加工を施した商品を開発、販売するために、現在農業の研修を受けています。私は、恥ずかしながら農業に全くといって関係なくてきたことがありません。そんな私が、農業に少しでも携わりたいと思ったきっかけは、前職の小学校教員の体験から来ております。学校の畑をキラキラした目で耕し、「先生野菜おつきくなつたかな？」と毎日聞いてくる子ども達が農業を通じてつながっていく様子を見て、農業には人々の魅力があるの



耕運した枝豆の畑



活動を行う影野地区

だと感じ、着任するに至りました。そんな素敵な魅力のある農業を三年間の活動の中で、少しずつ形にしていきたいと考えています。また、影野の地域の一員として認めていただける隊員になれるよう、地域の方々やサンビレッジ四万十の方々との活動を通じて多くのことを学んでいきたいと思っております。最後ではありませんが、大阪から来た私を温かく受け入れてくださっている地域の方々、サンビレッジ四万十の皆さんには感謝しております。この感謝を言葉だけでなく形にしたいためにも、精一杯頑張る活動に取り組んでいきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願

十和地域振興局
十和にぎわいまちづくり支援

四月より着任

国沢 桃子
Kunisawa Momoko

着任



はじめまして。私は高知市から来ました。大学生の時に農家民宿にはまり、将来はこんな生活がしたいなと思っていました。今回地域おこし協力隊という形で住んでみたことが嬉しうです。私が十和地域に行きたいと思つたきっかけは、協力隊の戸井田隊員が企画してくれた農業体験プランに参加したことです。そこから以前働いていたパン屋の繋がりで旧昭和中学校校舎を活用したクリスマスマーケットに参加して、さらにいい場所だなという思いが強くなりました。私がやりたいと思つていることのひとつは、パンの製造販売の経験を活かして地域の食材でパンを作ることです。普通に販売する



桐島畑でショウガ収穫



クリスマスの石窯ピザ

のも良いですが、キャンプ場でワークシヨップとしてパン作りを体験する企画も楽しいかなと思つてます。二つ目は、ギターの弾き語り経験を生かして、地域の民謡の掘り起こしや継承、また地域をアピールするオリジナルソングづくり等をやってみたいと思つてます。ただ私は、十和地域のことをこれから知っていく段階です。まずは地域の方々とお話したり、自分で十和地域を歩いたりするとところから始めていきたいです。そして、学んだことを活かして四万十町に貢献できたらと思つています。これからよろしくお願

地域おこし協力隊 クイズQ

Q1. 高知県は、人口10万人当たりの隊員数が全国第1位!

A. ○ B. ×

Q2. 四万十町の地域おこし協力隊の平均年齢はいくつでしょう?

A. 32歳 B. 43歳 C. 52歳



四万十町役場 にぎわい創出課
Tel: 0880-22-3281
Mail: 103050@town.shimanto.lg.jp
Address: 四万十町琴平町 16番 17号 (西庁舎 2F)